



グローバルユース
BOSAI
サミット
2025

「グローバルユース防災サミット2025 in 大阪・関西万博」の開催及び大阪市を拠点とするユースによる防災活動 【2025年度上半期活動報告書】

グローバルユース防災サミット実行委員会

グローバルユース防災サミット2025 in 大阪・関西万博 の開催及び大阪市を拠点とするユースによる防災活動

- 2021年 ●学校や国・地域を超えて、ユースが自発的に防災を学ぶ
●地域での実践を通して、防災人材に成長
●多様な背景の人々と共に考え、取り組めるこれからの防災の提案

2024年 大阪市市民活動推進助成事業(1年目)

- 2025年 大阪市市民活動推進助成事業(2年目)
- 万博を活用した防災活動(世界を知る、日本を伝える)
 - 公式参加国158カ国・地域に対する防災意識調査
 - 国内外の防災を一覧できる「BOSAI世界地図」の作成

ダイジェスト
映像



グローバルユース
防災
SAI
サミット
2025

グローバルユース防災サミット2025 in 大阪・関西万博の開催



5月17日(土)「グローバルユース防災サミット2025 in大阪関西万博」
ユース活動者87名(海外ゲスト10名含む)

ステージ:来場者125名

対話型展示:来場者210名

防災意識調査:訪問国・地域65、協力者163組、358名

グローバルユース
防災
BSAI
サミット
2025

ステージ：日本の防災の発信・世界のBOSAIとの共創

13:00-13:30 登壇者15名、来場者125名



小学生・中学生・高校生・
大学生らが海外ユースと共
に自分の言葉（日本語・
英語・手話）で発信

グローバルユース
防災
BOSAI
サミット
2025

対話型展示: 自分たちの活動を伝える

10:00-20:00 登壇者87名、来場者210名



海外や他団体
どんな活動
しているのか



- 小学校1校
- 中学校3校
- 高校2校
- スピンオフユニット2団体
- 海外 (トルコ、台湾、オーストラリア)

防災意識調査：対話から世界のBOSAIを学ぶ

10:00 - 20:00 活動者87名 + 保護者・教員37名

どこから
来ましたか？



災害の経験は
ありますか？



何を備えて
いますか？

防災に関心
がありますか？



防災をどこで
学びましたか？

65カ国/地域
163組
358名



120カ国/地域
293組
約650名

グローバルユース
防災
SAI
サミット
2025

その他の活動

1

学びと実践を通じたユース防災人材の育成

防災に関する基礎から応用、実践に導く学習機会を提供しました。

- 4月12日(土) キックオフ&防災学習会 ユース72名
- 5月16日(金) 大阪市阿倍野防災センター見学 ユース16名(海外ゲスト10名含む)
- 5月18日(日) 大阪市水上消防署見学 ユース34名(同上)、保護者・教員10名
人と防災未来センター見学 ユース34名(同上)、保護者・教員6名
- 5月19日(月) 津波・高潮ステーション ユース16名(同上)、教員2名
- 8月10日(日) 「ユースBOSAI万博」 ユース22名(JICA留学生6名含む)、教員4名
参加者(市内小学生42名・保護者43名) *写真
- 9月20日(土)、21日(日) 東日本大震災ドキュメンタリー映画&アフタートーク
ユース36名、参加者(市内小学生12名、保護者・一般52名)



その他の活動

2 学びを地域学びを地域や学校での防災活動に応用、実践

ユース自身が積極的に地域の防災活動に参加・参画し、実践的な取り組みを推し進めました。

8月1日(金)、18日(月)、19日(火)

大阪市鶴見区内小学校3校での防災講座 ユース5名、児童243名

9月5日(金)

大阪市阿倍野区内小学校防災宿泊訓練での防災講座

ユース4名、児童・保護者・教員312名

9月6日(土)

大阪市西成区内隣保館における親子向け防災講座

ユース4名、児童・保護者22名



その他の活動

3

ユースの発想による新たな活動機会の創出

ユースならではの柔軟な発想を生かしたソリューションの提示・提案・発信



7月5日(土) 「阪神大震災30年の教訓・世界へ」(読売新聞社主催)

講演 ユース1名、協力 ユース5名、来場者50名

8月4日(月) 「高校生未来健康ビジネスコンテスト」(東和薬品主催) 横河電機賞受賞 ユース3名

9月1日(月) NHK大阪「関西ラジオワイド 防災の日スペシャル」出演 ユース1名

9月21日(日) 「EXPO PLL Talks ムックとおしゃべりですぞ～大阪・関西万博とSDGs
ファイナル」 ステージ登壇 ユース4名

9月20日(土)、21日(日) 東日本大震災ドキュメンタリー映画&アフタートーク

運営・進行 ユース22名、参加者(小中学生14名、一般64名)

9月27日(土)、28日(日) 河内長野防災キャンプ(同市社会福祉協議会、市役所主催)

講演 ユース1名、運営 ユース3名、児童・保護者50名

その他の活動

4 世界との対話を通じた「BOSAI」の発信

国内外のユースが協働し「防災/BOSAI」の意義と重要性を発信しました。

5月17日(土) 「グローバルユース防災サミット2025 in大阪関西万博」

ユース87名(海外ゲスト10名含む)

ステージ:来場者125名、対話型展示:来場者210名、

防災意識調査:65カ国・地域、163組、358名

8月10日(日) 「ユースBOSAI万博」 ユース22名(JICA留学生6名含む)、児童・保護者85名

9月17日(水) 「グローバルユース防災サミット2025 in 大阪・関西万博(ミニサミット)」

ユース5名

対話型展示:来場者62名、

防災意識調査:6カ国・地域、14組、21名



その他の活動

5

防災情報の可視化と共有

各国パビリオンの代表者に防災意識調査を実施。世界を一覧できる防災地図を作る。

5月17日(土)、19日(月)、7月5日(土)、13日(日)、14日(月)、18日(金)、
19日(土)、20日(日)、21日(月)、25日(金)、8月3日(日)、10日(日)、
14日(木)、19日(火)、21日(月)、22日(火)、26日(火)、30日(土)、
9月8日(月)、17日(水)、21日(日)

計21回、ユース235名

調査実績:120カ国、293組、約640名



その他の活動

6

多様な主体との連携強化

JICA、気象庁、防災科学技術研究所、教育機関、新聞社、市立デザイン教育研究所(デ研)との協働

デ研との連携 4月12日(土)、19日(土)、24日(木)、26日(土)、5月9日(金)、15日(木)、29日(木)、6月21日(土)、7月12日(土)、26日(土)、8月8日(金)、20日(水)、9月9日(火) 全13回、ユース97名、教員20名 *写真左

NIKKEI未来社会共創ENGINEへの参画

5月31日(土)、7月25日(金)、9月29日(月) 全3回、ユース7名 *写真中、右



万博での経験を次のステージへ

2025年 2030年に向かって

万博で自分たちが得たもの

海外の人々に対し、自分たちが知りたいことを尋ねる【**勇気**】
海外の人と防災について話げた【**経験**】
対話を通じてもらった各国の災害や防災の【**知識**】
災害に強い未来を作ろうという【**思い**】
ユースの活動を支えてくれた【**共感**】【**応援**】

- 大阪から世界へ日本の防災を伝えたい
- 大阪で世界のBOSAIを学べる場所を作りたい

万博が開催されたからこそ出会えた人や学んだことを分かち合う「防災世界地図」を万博のレガシーに、そして次の万博に！



グローバルユース
防**SAI**
サミット
2025



グローバルユース
防災
BSAI
サミット
2025

「グローバルユース防災サミット2025 in 大阪・関西万博」の開催及び大阪市を拠点とするユースによる防災活動 【2025年度上半期活動報告書】

グローバルユース防災サミット実行委員会

- 主催 グローバルユース防災サミット実行委員会（TEAM EXPO 2025共創チャレンジ）
- 後援 大阪市、大阪公立大学都市科学・防災研究センター、(特活)日本防災士会大阪府支部、駐トルコ日本大使館、在トルコ日本国大使館、
在神戸・大阪ドイツ連邦共和国総領事館、在ハンブルク日本総領事館、(公社)2025年日本国際博覧会協会
- 助成 大阪市、(公財)三菱UFJ国際財団、(公財)大阪コミュニティ財団、関西・大阪21世紀協会（日本万国博覧会記念基金）、(公財)みらいRITA、
防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局
- 協賛 田中手帳(株)、尾西食品(株)、西尾レントオール(株)、タイホ防災(株)、雑穀屋やま元、子ども未来BOSAI基金
- TEAM EXPO 2025共創パートナー
アジア太平洋トレードセンター(株)、(株)F.C.大阪、環境省近畿地方環境事務所、(学)エール学園、日本経済新聞社、国立大学法人大阪大学
- TEAM EXPO 2025共創メンバー
(特活)レジリエンス教育研究所、田中手帳(株)、タイホ防災(株)、(株)ジェイコムウエスト、大阪医科薬科大学高槻中学校高等学校、ママコミュ！ドットコム
- 協力 大阪府市危機管理室、大阪市消防局、大阪府西大阪治水事務所、よんなな防災会、よんなな防災会学生部、UR都市機構、大阪市立デザイン教育研究所、
大阪公立大学都市科学・防災研究センター、一般社団法人大阪日独協会、DZGO株式会社、大阪SGGクラブ、(公財)日本消防協会、アジア防災センター、
川辺復興プロジェクトあるく、ドイツ・ハンブルク市消防局、防災教育施設（大阪市水上消防署、大阪市消防局指令情報センター、大阪市住之江抽水所、
大阪市立阿倍野防災センター、安治川水門、木津川水門、尻無川水門、津波・高潮ステーション、京都大学阿武山観測所、稲むらの火の館、
人と防災未来センター、北淡震災記念公園 野島断層保存館）
大阪府立水都国際中学校高等学校、大阪府立いちりつ高等学校、追手門学院大手前中学校高等学校、豊中市立第一中学校、大阪教育大学附属天王寺小学校、
(一社)デフノバ、team.カラコエ、OSAKANOTOMODACHI、クラーク国際高等学院天王寺校、近畿大学SIGアテンダンス、大阪商業大学中嶋貴子ゼミ、
大阪経済大学、大阪市立豊里小学校、下北BOUSAIネットワーク、札幌厚別中央しなの少年消防クラブ、広島市立似島中学校、名古屋大学防災サークル轍、
防災普及学生団体Genkai(玄海)、広島工業大学学生防災士会、認定NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ、兵庫県立大学学生災害復興支援団体LAN、
岡山大学被災地支援団体おかやまバトン、大東文化大学防災研究同好会「STERA」、宮城県岩沼市立玉浦小学校、和歌山県立和歌山商業高等学校、
神戸学院大学シーガルレスキュー
- ドイツ：ハンブルク市青少年消防団、ハンブルク州消防博物館、ハンブルク大学
- トルコ：Çankırı TOBB Science High School、Gündoğdu Primary School、Yaşam tasarım okulları、Yunuslar Ortaokulu- Secondary school
- ハワイ・マウイ島：Lahaina Community Land Trust、LAHAINA STRONG、High Tech Surf Sports
- オーストラリア：Girls on Fire、ニューサウスウェールズ大学、シドニー市消防局
- 台湾：新北市政府消防局、防災青年防災青年培訓団

(実績を含みます。順不同)